

Multicube 48 最先端の開放系分解システム



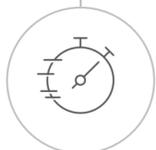
スループットの向上

1度に48個のサンプル処理が可能



分析手法の改善

低コストな酸分解



作業負荷の軽減

ディスポタイプのバイアル



簡単操作

直感的なソフトウェアとカラータッチスクリーン

© 2019 株式会社アントンパール・ジャパン | All rights reserved.
仕様は予告なく変更されることがあります。
H781P002JA-B



株式会社アントンパール・ジャパン
〒131-0034 東京都墨田区堤通1-19-9
リバーサイド隣田13階
Tel: 03-4563-2500 | Fax: 03-4563-2501

〒562-0035 大阪府箕面市船場東3-4-17
箕面千里ビル8階
Tel: 050-4560-2100 | Fax: 050-4560-2101

info.jp@anton-paar.com
www.anton-paar.com



Multicube 48



Multicube 48: 最先端の開放系分解システム

Multicube 48は、開放系の酸分解、蒸発、濃縮のほか、昇温が必要なその他のアプリケーションで使用されるラボ用の堅牢なホットブロックです。このPFAコーティングされたグラファイト製ブロックは、耐食性に優れたFEPコーティングのハウジングに収容されており、多種多様な大量のサンプルを信頼性の高い方法で問題なく前処理できるように設計されています。精度±1 °Cの正確な温度制御により、全ての容器で同じ分解品質を保証します。Multicube 48には、直感的なソフトウェアと包括的なドキュメントが付属しています。このため、食品、環境、石油、地質などその他多くの分野のサンプルの分解及び抽出に対応でき、低コストで優れた性能を発揮します。

高スループット – ラボでの作業効率の向上

- 48サンプルまで同時分解が可能
- バイアルがラックに設置されるため、充填が簡単で、分解後の冷却のための取外しが容易
- 800 Wの電力によって加熱時間を短縮
- 連続稼働時間が450日間と長く、作業間の冷却と加熱のための時間を節約できる
- 作業サイクルを短縮するために、処理の終了と次のサンプルバッチの準備完了を音声によって通知

完全な分解/抽出 – 高精度な温度制御によって、その後の測定向けに最適な前処理を実現

- 高温等質性: ヒートブロック全体に対して1 °C
- 最高180 °Cの分解温度
- 熱の影響を受けやすいサンプルの溶液にはオプションのPt100プローブを浸漬させることによる温度制御が有効
- EPA 3010a、3020b、3050b、3060、200.2、200.7、200.8、200.9、245.1、365.1などの標準メソッドに適合

完全な還流条件 – 分解溶液と分析物の損失を最小化

- 反応中にポリプロピレン製の時計皿でバイアルをカバー
- 0.1 °C単位の温度調整によって、最適な動作点を確保
- 試薬を節約し、酸の濃縮を低減



簡単操作 – 直感的なソフトウェアとカラータッチスクリーン

- Multicube 48の制御には、別売りのMulticube Controlユニット(長さ3 mのケーブルを使って接続)を使用。コントローラをホットブロックから離れた場所に置くことで、分解処理中の酸蒸気との接触を回避
- 最新の5.4インチカラータッチスクリーンは、傷や摩耗に強く、実験用手袋着用時でも操作可能
- 最終分解温度に到達するまでに、昇温時間設定、急速加熱、最大10の温度間隔での段階的溫度プロファイルという3つのオプションを利用可能
- 設定された温度プロファイル、実測温度、残りの処理時間及び経過時間を視覚化

包括的なドキュメント – GLP要件に適合

- 最大100種類の測定メソッド(インストール済みの国際標準メソッドとアントンパール社の推奨メソッドを含む)を保存可能なストレージ容量
- 最大100回分の実験を保存
- USBポート経由で.rtf及び.csvファイルとしてエクスポート

技術仕様

サンプルポジション	48
バイアルの容量	50 mL
温度範囲	最大180 °C
最長稼働時間	450日間
タッチスクリーン	5.4インチ静電容量式
ポート	USB

優れた分解品質を保証する多目的バイアル



高純度バイアル – サンプルにおける金属片の混入や汚染を防ぐ

- 単回使用(使い捨て) – 洗浄作業が不要/残留サンプルによる二次汚染の防止
- 50 mLの高純度ポリプロピレン製バイアル及び時計皿を前処理と分解処理全体で使用
- 69の元素について金属の溶出量が極めて低いことを示す証明書がバイアルに付属
- 時計皿の使用によって、空中に浮遊している粉塵による外部汚染を防止

正確な目盛り線付きのバイアル – 分解後の正確な充填が容易

- 全ての目盛り線は、正確に定容するためのクラスA仕様に適合
- 円周目盛り線であるため、定容時にバイアルの向きの調整は不要
- 5 mLごとの目盛り線

多目的バイアル – 全ての分析ステップで同じバイアルを使用

- 50 mLのバイアルの用途
- サンプルの計量
- Multicube 48での分解処理
- 分解後のサンプル溶液を定容するための
- メスフラスコとして使用
- F-AAS、GF-AAS、ICP-OES、またはICP-MSによる金属分析のためにオートサンプラーで直接使用